



2026年3月31日

各位

会社名 KDDI株式会社
代表者名 代表取締役社長CEO 松田 浩路
(コード番号：9433 東証プライム市場)
問合せ先 コーポレート統括本部
総務本部長 中里 靖夫
(TEL 03-3347-0077)

通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ

当社は、2025年5月14日に開示いたしました2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)の業績予想に関し、下記のとおり修正することを決定しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 修正の内容

2026年3月期 連結業績予想値の修正(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
前回発表予想(A)	百万円 6,330,000	百万円 1,178,000	百万円 748,000	円 銭 194.38
今回修正予想(B)	6,060,000	1,090,000	698,000	181.23
増減額(B-A)	△270,000	△88,000	△50,000	△13.15
増減率(%)	△4.3	△7.5	△6.7	△6.8

(2) 修正の理由

当社の連結子会社であるビッグロブ株式会社及び同社の子会社であるジー・プラン株式会社(以下、併せて「本件子会社」といいます。)の広告代理事業に関し、本件子会社の社員により不適切な取引が行われていた疑いが確認されたことに伴い、事実関係やその原因等を明らかにするために、専門性及び客観性のより高い調査を実施する必要があると判断し、2026年1月14日付で外部の弁護士・公認会計士で構成される特別調査委員会を設置し、調査を行われました。当社は特別調査委員会より2026年3月31日に調査報告書を受領し、本件子会社の広告代理事業に関し、売上高及び売上原価の架空計上等の不適切な取引が行われていたことが認められました。これに伴い、不適切な取引に係る売上および売上原価を取り消すとともに、代理店手数料として外部流出した金額を損失計上する見込みです。これにより、売上高676億円、営業利益420億円、親会社の所有者に帰属する当期利益352億円がそれぞれ減少する見込みです。

その他、スマートフォン総販数の減少に伴う移動機販売売上の減、エネルギー売上減等の影響を見込み、売上高は総額2,700億円減少する見込みです。

また、当社のパーソナル事業において、顧客獲得時に発生する代理店等への販売手数料等のうち、将来の通信料収入で回収可能と見込まれる部分を契約獲得または履行するためのコストとして資産計上しております。今般、市場環境の変化等により、LTV(Life Time Value)を中心とした販売戦略へ見直しを行っており、SIM単体契約者を始めとする短期解約者に掛かる販売手数料は極力抑える方針にシフトすることとしました。販売戦略の見直しと併せて、将来キャッシュ・フローによる回収が見込めなくなった当該販売手数料は、翌年度より資産計上されません。当資産は、四半期ごとに回収可能性の検討を行っておりますが、販売戦略の見直しの影響を踏まえて、当年度末における将来キャッシュ・フローの見積りを見直した結果、当資産の回収可能価額が帳簿価額を下回ることが判明したため、500億円を減損損失として計上する見込みです。

以上の要因等を踏まえ、通期見通しを上記の通り修正しました。

なお、これらの影響により、当年度の業績は一時的に下振れする見込みではありますが、これらは来期以降の業績に影響を及ぼすものではありません。また、パーソナル事業の減損損失については、市場環境の変化を踏まえ、SIM 単体契約の増加に伴う一時的な見直しであり、来期以降の業績およびキャッシュ・フローへの影響はありません。これら一過性要因を除いた当社グループの本業に係る業績については、概ね順調に推移しております。

※将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上